United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

平成25年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：２０１３年４月～２０１４年３月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、ＨＰ等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

１．学校概要

学校名　金沢市立犀川小学校

種別　□保育園・幼稚園　■小学校　□小中一貫教育
□中学校　□高等学校　□中等教育学校
□教員養成　□技術/職業教育
□その他（　　）

住所　〒９２０　－１３０２
石川県金沢市末町２丁目１４８番地

E-mail：saigawa-e@kanazawa-city.ed.jp

Website：http//www.kanazawa-city.ed.jp/saigawa-e

児童生徒数：男子 118名　女子 133名　合計 251 名

児童・生徒の年齢　6歳～ 12歳

２．担当者　※公表しません

３．実施活動（複数選択可）

□　地球規模の問題に対する国連システムの理解
■　国際理解
□　世界遺産
□　平和・人権
■　環境
□　気候変動
□　生物多様性
□　エネルギー
□　防災
■　食育
■　伝統文化
□　そのほか（　　）

４．活動内容

（１）１年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

３年　犀川新発見プロジェクト

町探検、太鼓・昔遊び体験などを通して、今まで知らなかった犀川校区の「文化・人・歴史」などについて知り、よさを見つけることができた。また、地域の公民館の見学や公民館行事の参加を通して校区の人々と仲良くなり、心のつながりの大切さが理解できた。さらに、金沢の和菓子や茶道、伝統行事を体験することで、金沢のよさを見つけることができた。

それらの学習活動から、犀川をふるさとだとする意識を育むことができた。

４年　犀川探検プロジェクト

校区を流れる犀川での川遊びや川の自然調べ、校区の文化遺産ともいえる「辰巳用水」や「末浄水場」の見学などを通して、犀川に親しみ、犀川の環境や保全について理解するとともに、犀川を活用した用水などが昔から市民生活と深い関係にあることが理解できた。また、金箔工芸体験を通した金沢の伝統文化や、ふるさと偉人館見学による金沢の偉人について学ぶことで、金沢のよさを見つけることができた。

それらの学習活動通して、ふるさとの特色を理解し、大切にしようとする意識が育ってきた。

５年　農林業体験プロジェクト

森づくり活動、校区の米作り体験などを通して、森の働きや森の大切さ、農林業に従事する人々の苦労や工夫などが理解できた。また、医王山や加賀野菜を調べることで、ふるさとのよさについて理解を深めることができた。

それらの学習活動により、犀川や金沢の環境・食文化について考えることができた。

６年　金沢探検プロジェクト

第３学年から第５学年までの「総合的な学習の時間」で調べたことをまとめる活動や、犀川地区を詳しく調べる活動、また、金沢中心部探索活動などを通して、犀川・金沢の「人・文化・歴史」等についてより深く理解することができた。

さらに、近隣の小学校と調べた事を交流し合う活動を行い、他地域の特徴や良さを知るとともに、その比較によって自分達の地域の特徴も明確にすることができた。

それらの学習活動を通して、自分のふるさと犀川・金沢についての良さを再発見する事ができた。また、自分達の住む地域の課題や将来像を考えることができた。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

■　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
□　時間外活動の時間を使用
□　ユネスコクラブの活動として実施
□　その他（　　）